

日程表・プログラム 第5会場（中研修室）

9:50～10:50		ポスターO1	
		座長	国際医療福祉大学 マロニエ医療福祉専門学校
			野崎 智仁 野尻 真生
O1-1	臨床実習指導におけるカードゲームと生成AIを用いた面接スキル研修の効果	獨協医科大学日光医療センター	須藤 誠
O1-2	TKA・THA術後のADL・IADL訓練種目数と転倒関連自己効力感、うつ・不安との関連 ―ケースシリーズ研究―	国際医療福祉大学	白砂 寛基
O1-3	目標管理と人事考課を活用した人材育成の試み ― 目標管理制度の見直しによる変化の検証 ―	新上三川病院	坂田 尚昭
O1-4	パーキンソン病患者におけるLSVT-BIG®実施後のMini-BESTest下位項目別スコア変化	白澤病院	大島 拓也
O1-5	回復期リハビリテーション病棟におけるサルコペニアの臨床的影響 ～大腿骨近位部骨折患者を対象として～	新上三川病院	関口 峻介
O1-6	回復期リハビリテーション病棟退院後の訪問による生活状況評価 ～ケアマネジャーとの介護保険サービス調整を実施して～	リハビリテーション花の舎病院	横尾 一徳
O1-7	橈骨遠位端骨折術後患者へのTissue Flossing治療経験:3症例での検討	済生会宇都宮病院	菅野 拓巳
O1-8	当院一般病棟における入院患者についての実態調査 ～高齢運動器疾患患者への作業療法のあり方を考える～	栃木県立リハビリテーションセンター	谷津 拓海

11:00～11:50

ポスターO2

座長

自治医科大学附属病院

Bridge

玉野 彩

山口 理貴

O2-1 作業療法中の微弱電流刺激が褥瘡改善と退院支援に寄与した症例

とちぎメディカルセンターとちのき

信末 匡哉

O2-2 愛着障害による問題行動を繰り返す症例の安全基地を整えるまでの実践報告  
～入所施設への訪問の有効性と作業療法士の支援マネジメント～

アイリブ訪問看護ステーション

増山 直希

O2-3 メトレキサート関連脊髄症を合併した節外性NK/T細胞リンパ腫に対する作業療法の経験  
～希望に基づく自宅退院支援の一例～

自治医科大学附属病院

小林 真実

O2-4 「相談」から「まちづくり」へー当法人が考える地域支援ー

那須フロンティア

八木澤 龍之介

O2-5 慢性心不全患者への作業療法士の関わり 生きがいを継続することを目標にして心不全セルフケアを  
獲得した症例

国際医療福祉大学病院

石田 卓也

O2-6 急性期骨転移患者の喪失体験に寄り添い、生きがいを再構築できた症例

国際医療福祉大学病院

福田 ひかる

O2-7 知的障がい児に対する自転車運転練習方法の検討

国際医療福祉大学病院

鈴木 駿太

O2-8 精神科病院の入院作業療法に従事する作業療法士が訪問看護を行う利点

佐藤病院

八木澤 祥代

O2-9 医療的ケア児の支援において作業療法士の立場で得た知見  
ー地域における課題と訪問作業療法士に求められることー

西那須野マロニエ訪問看護ステーション

石田 里菜

13:00～14:00	ポスターP4		
-------------	--------	--	--

	座長	新上三川病院 NEW STORY	村中 大樹 横地 翔太
P4-1	運動協調性の改善と行動変容を認めたDCD児への個別理学療法介入	国際医療福祉大学病院	鈴木 暁
P4-2	左視床出血発症し触覚性消去現象を呈し、認知運動課題によりバランス能力改善した症例	那須北病院	佐々木 涼
P4-3	頭頂葉皮質の障害を呈し、感覚障害により麻痺側での支持が困難となった患者に対して起立動作獲得を目指した症例	リハビリテーション翼の舎病院	長谷川 和輝
P4-4	高齢脊髄小脳変性症患者における長期的リハビリテーション介入の有効性 — BI・SARAスコアおよび筋肉量の経年変化を指標として	国際医療福祉大学病院	村野 安美
P4-5	重度脳卒中患者に対して覚醒向上を起点とした介入を通じて寝たきりから離脱した症例	宇都宮リハビリテーション病院	佐々木 美寿
P4-6	運動学習が困難であった脳卒中患者に対し、課題共有の促進が歩行改善に奏効した一症例	宇都宮リハビリテーション病院	小笠原 大
P4-7	右頭頂葉出血による空間認知障害へ理学療法を行いゴルフ・運転・復職を支援した症例	リハビリテーション花の舎病院	内田 貴裕
P4-8	くも膜下出血を発症しシャント術後に覚醒の改善を認め端座位保持が可能になった症例	新小山市民病院	鈴木 隆仁
P4-9	脳卒中後左片麻痺と亜脱臼を呈した症例に対して、電気刺激(IVES)を活用した上肢介入	リハビリテーション翼の舎病院	坂井 陽介
P4-10	脳出血再発し認知障害を呈した両側片麻痺患者へのHALを使用し移乗動作が改善した症例	栃木県医師会塩原温泉病院	黒川 裕貴

14:00～14:50

ポスターP6

座長

国際医療福祉大学  
那須南病院

小野田 公  
金枝 芳明

P6-1 大腿骨近位部骨折によるリエゾンサービス対象者における入院前の栄養状態と身体機能の関連

那須中央病院 本澤 薫

P6-2 移乗介助を体験しながら楽しく学ぶ：地域中核病院と定巡の連携による訪問系職種向け実技研修会の意義

株式会社HINATA 小野 雅之

P6-3 「身体活動・運動ガイド2023」を活用した上三川町高齢者フィットネス講座の実践

新上三川病院 布川 才浩

P6-4 理学療法士が挑む新たな在宅支援の働き方 ～「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の実例を通して～

株式会社HINATA 三田 裕一

P6-5 CEPTを用いた理学療法士の臨床能力に関する検討：経験年数および役職の違いに着目して

新小山市民病院 玉造 翔悟

P6-6 言語的転回をコンセプトモデルとした本校のPost OSCEについて

マロニエ医療福祉専門学校 向山 弘一